

人と動物の健康を一体的に守る人獣共通感染症対策

暖かくなると増えるマダニに注意

感染症の約半数を占めるといわれる「人獣共通感染症」は、動物から人へ、人から動物へ感染する場合があります。感染力が強いものや、重症化する恐れがあるものもあり、正しい知識と対策が必要です。中でも、「SFTS(重症熱性血小板減少症候群)」や「日本紅斑熱」はダニに咬まれることで感染します。SFTSを発症した動物との接触で感染する場合もあり、ダニの活動が活発になる今からの季節は特に注意が必要です。

-対策-

- 農作業などでダニの生息地に入る場合は、肌の露出を避けた服を着用する
- 忌避剤(スプレーなどの害虫を寄せ付けなためアイテム)を活用する
- 室内に入る前に、服に付いたダニをガムテープなどで取り除く
- 屋外活動後はシャワーを浴びるなど、身体にダニがついていないか確認する
- ペットの行動範囲を把握し、体に付着していないか確認する



野生動物が生息する環境や公園、河川敷、草むらなどに生息しています

写真：福岡県ホームページより参照

もしも咬まれてしまったら、無理に引き抜こうとせずに医療機関で適切な処理を受けましょう。また、数週間程度は体調の変化に注意しましょう。

ワンヘルス宣言事業者にみやまん・コインを交付します

ワンヘルスの理念と取り組みを広げるため、福岡県が実施している「ワンヘルス宣言事業者登録制度」に登録した事業者に「みやまん・コイン」を交付します。

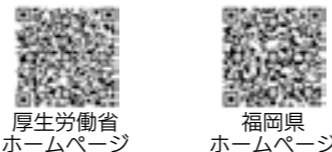
- 申請場所 市ワンヘルス総合推進室
- 申請期限 12/18(金)
- 持ってくるもの 県ワンヘルス宣言事業者登録証
- 交付するみやまん・コインの有効期限 2027年2月末
- 過去に交付を受けた事業者は対象外

ワンヘルス宣言！実践の第一歩「わたしのワンヘルス」



田中羊羹本舗
原田 亜希子 さん

もともと猫が好きで、猫の命を守りたいという思いから保護猫活動を行ってきました。その思いが、ワンヘルスの理念である「人と動物の共存」と重なると思い、宣言事業者に登録しました。羊羹屋としてできることを考える中で生まれたのが、猫の形をした「猫ようかん」。その売り上げを、私が代表を務める保護猫活動団体「みやま猫YOにゃんず」の活動資金に充てています。目の前の命を守りたいという思いで始めた活動から人の繋がりも広がり、みやまの温かさを実感しています。これからも、人と動物が共に暮らせる社会づくりを目指して活動を続けていきます。



「みやま中学校」で新たな歩みを



瀬高中学校と東山中学校が統合して誕生した「みやま中学校」で4月7日に開校式が行われ、校歌の作者・松尾恵理佳さんと在校生が校歌を披露しました。翌8日には104人が入学。古賀校長は「主体性と、みんなが安心して過ごせる雰囲気づくりを大切に」と話しました。

色鮮やかなばたんが来園者を出迎え



イノシシ被害を受け昨年リニューアルした「清水山ぼたん園」が、4月13日に開園しました。今年はばたんを大きく成長させるため開花前に蓄を摘む「摘蓄」が行われ、花数は減少したものの、白やピンク、赤など色鮮やかなばたんが咲き誇り、訪れた人々を楽しませました。

新入消防団員9人が入団 初訓練



4月5日、新入消防団員の辞令交付式が行われ、9人が新たに入団しました。交付式後には、規律やホースの取り扱い、放水などの訓練が実施され、新入団員を含む19人が参加。地域の安全・安心を守るため訓練に真剣に取り組み、汗を流しました。

安全運転で安心のまちへ



4月3日、瀬高町大江で市安全・安心まちづくり協議会による「春の交通安全県民運動出動式と街頭啓発キャンペーン」が行われました。瀬高保育園の園児37人による交通安全宣言の他、県警航空隊による空からの広報啓発などで、交通安全への意識高揚を図りました。

ルリー口福岡と連携協定を締結



4月15日、県南部を拠点とするラグビーチーム「ルリー口福岡」を運営する株式会社LERIROと本市が、「ホームエリアに関する協定」を締結しました。締結にあたって松嶋市長は、「一緒にスクラムを組んで盛り上げていきたいと思います」と今後の連携への期待を述べました。

みやまの歴史に触れるサイクリング



3月29日、市グリーンツーリズム推進協議会主催の「山門古道を巡るサイクリングスタンプラリー」が開催されました。参加者たちは、山門地域に残る歴史文化資源を生かした「山門古道」の4つのショートトレッキングコースや、蜘蛛塚古墳などを巡りました。